

神奈川県らくらく介護宣言

～ 神奈川県は「人の力のみで抱え上げない介護・看護」を推進します ～

介護・看護の現場では、人を抱え上げるなどの腰に負担の生じる作業が、職員の腰痛、さらには労働力の低下につながり、深刻な問題となっています。

今後、高齢化の進展に伴い、介護・看護職員の不足も見込まれることから、介護・看護職員の負担軽減や利用者・患者に質の高いケアを提供するため、介護・看護の現場における腰痛予防対策の考え方である「人の力のみで抱え上げない介護・看護」の推進が求められています。

そこで、神奈川県では、「神奈川県らくらく介護宣言」を行い、次の取組みを推進します。

1 知ろう！

介護・看護現場の管理者に対し、「神奈川県らくらく介護宣言」の理念の普及啓発を図ります。

2 使おう！

新たに介護・看護の現場で役立つと期待されるロボット・機器の導入を進めます。

3 学ぼう！

介護・看護職を中心とする保健医療福祉の専門職全般を対象に、人の力のみで抱え上げない介護・看護技術の普及を進めます。

平成 27 年 6 月 12 日

神奈川県知事 志保祐治